

新年のご挨拶 | (一社) 愛知県情報サービス産業協会 会長 松田 信之



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、当協会でも各委員会の皆様のご努力によりいろいろな活動が再開されました。定時総会(6月)、ゴルフコンペ(5月、10月)、AiAセミナー、(6月～)、プログラミング体験教室(7月、12月)、野球大会(8月～12月)、ITC2022コンテスト(6月～10月)、専門学校・大学との就職担当懇談会(11月)が開催され、

新年には賀詞交歓会(1月19日)、ボウリング大会(2月4日)が予定されています。

オンライン会議で委員会や理事会などの開催は大変効率的になりましたが、一方で何か足りないと感じられる方も多いと思います。東北大学の川島教授によれば、対面でお互いの顔を見ながらよいコミュニケーションがとれた場合には、お互いの脳活動が「同期する」という現象が起きるが、オンラインでは脳が「同期しない」という実験結果が出たそうで、対面のコミュニケーションの重要性を訴えています(川島 隆太 オンライン脳 東北大学の緊急実験からわかった危険な大問題 22年7月)。今後はリアルな活動が完全復活し、会員同士の交流や地域貢献も活発になると期待しています。

さて、当協会では昨年度「DX時代におけるAiA事業活動方針」を策定し、4つの活動を行ってきました。これまでの活動を下記に簡単に紹介します。

①会員の方への情報提供・啓蒙活動 (DXセミナー)

開催月	講演会社	テーマ	参加者
2021年12月	富士通株式会社	DXによる競争力軸の転換	53名
2022年1月	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社	AWSのクラウドとは	46名
2月	日本マイクロソフト株式会社	新しい働き方はクラウドで切り拓く	70名
3月	ServiceNow Japan合同会社	社内業務にDXを！の国内事例ご紹介	41名
4月	有限会社アールスリーインスティテュート	内製化の流れの中で、システムベンダーは生き残れるのか？	36名
8月	レッドハット株式会社	メガクラウドの発展を可能にしたクラウドネイティブアーキテクチャ	35名
9月	株式会社セールスフォース・ジャパン	新しい世界におけるお客様の成功～Salesforceで実現する"顧客中心"のDX～	38名
10月	トレンドマイクロ株式会社	DXで変化するサイバーセキュリティ対策最前線	37名
12月	富士通株式会社	DX最前線～今起きていること、そして今すべきこと～	41名
累計			397名

②DX時代の人材育成

- ・ITC (InnovationTechnologyChallenge) 2022コンテスト9社12チーム51名の参加
- ・DX向け研修の新設 5コース53名(計画中含む)の参加

③ユーザ企業・会員企業とのマッチング

- ・公益財団法人あいち産業振興機構 地域DX促進活動支援事業(伴走型、マッチング)への参加
- ・愛知県デジタルモデル実証事業への協力

④地域貢献

- ・MirAITokAIジュニアプログラミングコンテスト体験会開催(7月 45組親子参加)
- ・プログラミング体験教室(Minecraft、ScratchJr、MESH)開催(12月 24組親子参加)
- ・起業学生とAiA会員企業との交流会開催(10月 学生起業家7名、AiA4社参加)

また、DXに関心のある会員様向けにTeamsによる「DX推進コミュニティ」を5つのサブチャンネルで運営しています(参加希望の方はinfo@aia.or.jpまでメールください)。

- ・01_自己紹介とマッチング OneNoteに1社1頁で自社紹介、メンバー情報を検索
- ・02_DX TIPS & QA DXに関するTIPSの相互提供と相互回答のQAを行う
- ・03_DXセキュリティ セキュリティに特化した情報提供、情報交換を行う
- ・04_メンバーからお知らせ メディア掲載、展示会、イベントなどの紹介
- ・05_雑談Chatter メンバー同士が交流できる最も気軽に投稿可能なチャンネル

会員の皆様にはぜひこれらの活動へのご理解とご参加をお願いできれば幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭所感

中部経済産業局長 田中 耕太郎



令和5年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

我が国経済は、コロナ禍で大きく打撃を受けましたが、ようやく経済との両立に向けた道筋を辿ってきております。引き続き十分な注意が必要ではありますが、本年は、経済の本

格回復に向けてしっかりと取り組むべき年になると思っています。

他方、世界的なインフレ、ウクライナ情勢、中国の動向などには十分に留意することが必要です。国内においては、昨年10月には約30年ぶりの円安を記録し、物価上昇の傾向も見られます。また、人口減少、製造業においても加速するデジタル化、世界各国が種々の規制等の導入方針を示しているカーボンニュートラルへの対応など、我が国の経済社会は構造的な課題に引き続き直面していることを改めて認識することも重要です。

我々はこれらの課題に立ち向かい、自らを変化、変革させ、果敢に挑戦していかなくてはなりません。そのためには研究開発、省エネ・省人化などの設備や、人材の育成・確保などに向けた投資が必要です。また、リスクを負って新しいことを産み出すスタートアップも重要となります。経済産業省・中部経済産業局としても、このような投資を全力で後押しし、産業競争力強化を図っていくとともに、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの推進やサーキュラー・エコノミーの実現を目指し、持続的な経済活動につなげる取組も推進してまいります。

挑戦的な企てを進めるとき、神は想定外の困難の発生と秘めたる解決能力の可能性とを隠すことで、あえて挑戦を促しているとする「神の隠す手」という原理があります。どうか皆様には、課題解決に向けて果敢に立ち向かう1年にさせていただきたいと思っております。

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、愛知県政150周年を迎える中、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園した記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」の成功、愛知国際アリーナやSTATION Aiの工事着手など、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県が日本の成長エンジンとして、活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗り越え、イノベーション創出に挑戦していかなければなりません。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」が開園します。「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。

「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

理事会

2022年度 第3回理事会が行われました

日時：2022年11月2日(水)

場所：AiA会議室およびWeb会議システム利用

議題：1. 審議事項

無し

2. 報告事項

- (1) 委員会活動状況
- (2) 2022年度予算の上期執行状況
- (3) Cloud・IT Business Messe2022への後援
- (4) インボイス制度への対応
- (5) 会員の入退会

会員往来

【正会員】

CRESS INFO 株式会社 名古屋事業所 … 社名変更

旧社名：株式会社 サンユ情報システム 名古屋事業所

セリオ(株) 名古屋オフィス … 住所変更

新住所：〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6

大樹生命名古屋ビル 11F

TEL/FAX変更なし

2022年度下期セミナー実績

2022年度は、従来のヒューマン系3分類に「DX」を加えた体系です。いずれも高い評価を得ています(満足度は5段階評価)。

開催日	セミナー名(講師)	受講者	満足度	受講者の声
10月4日(火) ・5日(水)	中堅リーダー社員 管理能力向上研修 (一社)中部産業連盟 清水 弘之氏)	23名	3.9	・チームのパフォーマンスを最大限に発揮する要素を整理できた。
10月6日(木) ・7日(金)	IT技術者のためのコミュニケーション (セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵 真理子氏)	9名	5.0	・普段の業務では学ぶことができない手法を学んだ。
11月15日(火)	リーダーのためのアンガーマネジメント (株)エヌ・メルクス 鈴木 麻里子氏)	20名	4.3	・怒りの原因を知ることで、そのコントロール方法を学んだ。
11月16日(水)	若手女性社員向けキャリアデザイン (株)インテックス 水藤 麻美氏)	8名	4.9	・これまでの自分を振り返る貴重な機会を得た。
11月17日(木)	デジタルテクノロジーの基礎～DX時代のSEに必要な技術～ (株)富士通ラーニングメディア 佐藤 祥史氏)【DX】	9名	4.6	・最新の技術動向が網羅されており、とてもわかりやすかった。
11月21日(月) ・22日(火)	DX実現のための人材開発～ノーコード AIツールを活用体験～ (株)インテックス 中西 夏基氏)【DX】	11名	4.3	・DXの進め方やAIの基礎をよく理解できた。
11月24日(木) ・25日(金)	IT技術者のためのネゴシエーション (セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵 真理子氏)	12名	4.6	・自身の経験を裏付ける理論が学べた。これからの業務へ活用したい。
11月30日(水)	DX演習で考える提案書、企画書での図解手法 (株)コスモウインズ 宿澤 直正氏)	10名	4.4	・知識と発想力の不足を感じた。実践の中でさらにスキルアップを目指したい。
12月1日(木) ・2日(金)	チームビルディングとモチベーションアップ (セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵 真理子氏)	7名	4.7	・体系的な知識を得た。明日からメンバーのモチベーション向上に活かしたい。
12月8日(木)	採用力強化実践研修 (株)デジタルミックス 大内 香那子氏)	13名	4.7	・学生の考え方やトレンドを知ることができ役に立った。

DX関連技術オンラインセミナー開催

AiAでは、企業・社会のDX推進を支援するための各種施策を検討・展開中です。その一環として、DXを実現する基盤技術をテーマとしたセミナーを順次開催しております。

開催日	テーマ	講師	受講者
10月14日(金)	DXで変化するサイバーセキュリティ対策最前線	トレンドマイクロ株式会社 パートナー営業本部 ジェネラルビジネス営業部長 ディレクター 兼 パートナーマーケティンググループ グループ長 和木 正浩氏	37名
12月14日(水)	DX最前線～今起きていること、そして今すべきこと～	富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 武田 幸浩氏	41名

受講者からは「最前線の豊富な知見を有した講師から最新動向を得ることができ、いっそう理解が深まった」「質疑の時間もしっかりとあり、セミナー内容をより理解することができた」「具体的事例を交えた丁寧な説明は、非常にわかりやすく面白かったとともに、大きな刺激を受けた」との声が聞かれました。なお、セミナー受講者で希望の方々とDX関連情報収集や意見交換できる「DX推進コミュニティ(Web会議サービス活用)」を形成しております。ご興味のある方はAiA事務局までお問い合わせください。

SPORTS

ゴルフ大会

詳細は⇒www.aia.or.jp/event/golf_2022_Autumn_top.html

10月19日(水)開催の2022年秋季ゴルフ大会は、さなげカントリークラブ(愛知県豊田市)で23名が参加しました。天候にも恵まれ、各ホールから歓喜の声も聞こえる和やかな会となりました。

優勝者は、AiA会長の松田 信之さん(株)中電シーティーアイ)でした。



第30回軟式野球大会が閉幕

詳細は⇒www.aia.or.jp/event/bb30_top.html

8月6日(土)に開幕した大会は、12月3日(土)に熱田球場(名古屋市中区)で、準決勝2試合と決勝戦を行いました。参加18社20チームによる熱戦の結果は、次のとおりです。

- 優勝: UNITYS (キムラユニティー(株))
- 準優勝: Orange Sox (株)トヨタシステムズ)
- 3位: チャレンジャーズ (株)トヨタシステムズ)
- タンブラーズ(東邦ガス情報システム(株))



採用支援委員会

専門学校・大学の就職担当とAiA企業の懇談会を開催

11月15日(火)に「専門学校・企業就職担当懇談会」、11月24日(木)に「大学・企業就職担当懇談会」を、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市)で開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、懇親会は中止されました。

情報・意見交換のテーマは「学生の就職動向」「インターンシップ」を始め多岐に渡り、活発な発言がなされました。

参加したのは、8専門学校・54社、19大学・71社でした。



企画事業委員会

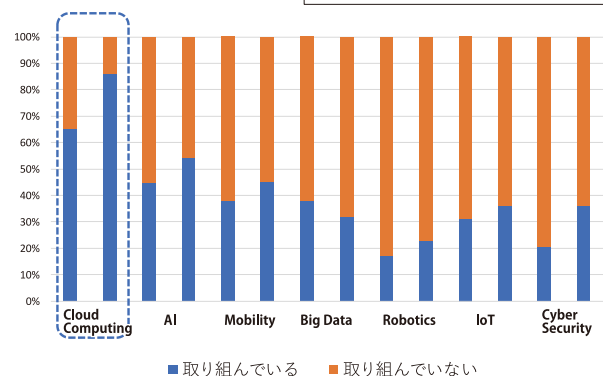
2022年度DX関連技術への取り組み状況調査結果(概要)

昨年に続き10月に、「DX時代におけるAiA事業活動方針」に基づく活動の一環として調査した結果の一部を紹介します。DXで注目すべき主要技術7領域を指す「CAMBRIC」に沿って設問。その進展段階*も確認しました。(*:一般社団法人情報サービス産業協会報告書「CAMBRIC-2021～DXのその先へ～」の「技術領域に属する要素技術やサービスの4段階(Basic、DX introduction、DX evolution、Next DX)」を適用)

CAMBRICへの取り組み状況

- ・クラウドサービス領域への取り組みが多い
- ・2021年度に比して「取り組んでいる」が増加傾向

各領域左側:2021年度n29・右側:2022年度n22



こども未来委員会

プログラミング教室
～次代を担う子供たち対象に教室開催～

12月3日(土)、4日(日)、次代を担う子供たちの情報リテラシー向上を目指し、幼稚園児と小学生を対象として、プログラミングの体験教室3コース(各2時間)を(株)中電シーティーアイ Collaboration Lounge HatCh(名古屋市)で開催しました。

コース概要(使用ツール)	参加者層	参加人数
①パソコン画面上の様々なブロックを組み合わせる(ScratchJr)	幼稚園年長～小学2年生	9名
②コンパクトなIoTブロックとアプリを使う(MESH)	小学2～6年生	5名
③架空世界を創造・冒険するアプリを使う(Minecraft)	小学2～6年生	10名

①②の指導は委員会メンバーが担当し、③はマイクロソフトが認定するMIE fellow 岩田 智文氏にお願いしました。

参加者は、丁寧な指導の下、熱心に課題に取り組んでいました。多くの方から「楽しかった」「もっと続けたかった」との声が聞かれました。



CAMBRICへの取り組み段階

- ・Cloud Computing・AI領域: 上位段階DX introductionへの移行
- ・IoT・Cyber Security領域: BASIC(新規取り組み)が増加

各領域の左:2021年度・右:2022年度

